

ラウンドテーブル春 2025 開催報告

令和7年2月15日（土）ラウンドテーブル春2025が開催されました。午前、立正大学名誉教授でいらっしゃる中田洋二郎先生より、『保護者と支援者の連携による教育的ニーズのある子どもへの発達支援～ペアレント・トレーニングを通して～』のテーマでご講演を賜り、発達障害における保護者と支援者の連携のあり方、子どもへの発達支援のあり方を、演習も交えて考えることができました。午後は、各グループで実践報告を行い、教育に関わる多様な立場の参加者の皆さんと省察し学び合うことができました。また、日頃の実践や悩みなどについても共有し、共に考える場となりました。



福島大学大学院教職実践研究科

福島大学公式キャラクター
めばえちゃん

教職大学院便り

編集:教職実践研究科
M2猪俣 北田 M1脇坂

令和7年3月5日 発行 NO8



令和6年度 福島大学教職大学院 最終報告会

令和7年2月19日（水）に福島大学内で大学院2年生による研究の最終報告会が行われました。2年間、理論と実践の往還を目指し、取り組んできた研究の結果を報告書にまとめました。これまでも大学院の中でお互いの研究経過を発表し合い、大学院の先生方や院生から忌憚のないご意見を頂き、研究に活かしてきました。その研究の集大成として、研究の成果や課題を報告しました。大学院での研究は一段落となりますが、福島大学主催のラウンドテーブルや各学会など、外部に向けて発表し、さらに研究を深めていきたいと考えています。そして、福島県の教育に貢献していきたいです。





教職大学院便り

編集:教職実践研究科
M2 猪俣 北田 M1 脇坂

令和7年3月5日 発行 NO8

最終報告会発表テーマ

今年度、大学院2年生の最終報告会での発表テーマは以下の通りです。

学校運営に参画する仕組みの構築 -ミドルリーダーの働きかけによる協働的効力感の波及-
教師が主体的に学ぶことのできる校内研修
教師のウェルビーイングを高める学校の在り方に関する一考察 ~主体性ややりがいに着目した働き方改革を通して~
中学校における道徳科の組織的な授業改善の取組 -ローテーション授業等の実践を通して-
社会的事象の見方・考え方を働かせて課題を解決する社会科の授業づくり ~地域教材を活用した学びを通して~
高等学校における「深い学び」による知識の構造化過程と授業改善 -概念図を用いた生徒の学びの把握を通して-
グローバル・シティズンシップを育む社会科授業の実践 -「他人ごと」から「自分ごと」へ-
中学校社会科において思考力を高める授業の工夫 -ICTの有用性に着目して-
小学校理科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」に着目した単元デザインに関する研究 ~子ども主体の問題解決を目指して~
喜びや楽しさを味わうことのできる体育科の授業デザイン
学ぶことの意義や有用性を実感することができる理科授業づくりを目指して -初心者教師による「ものづくり」を位置付けた小学校理科の実践-
球技の特性に触れることのできるミニゲームの教材開発 -高等学校ベースボール型授業実践より-
社会的問題に対する判断力の育成を目指した中学校社会科授業デザイン -対話的学びを通して-
小学校通常学級における児童の認知スタイルを考慮した学習指導 -漢字書字の観点から-
言葉による見方・考え方を働かせた国語科の授業づくり -知的障害のある生徒の言語能力を育むために-

本研究の実施にあたり、研究にご協力いただいた連携協力校の児童生徒および先生方、大学院の先生方、貴重な機会を与えてくださった福島県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、各関係機関、所属校、連携協力校の皆様深く感謝申し上げます。

教職大学院について知りたいときは・・・

教職大学院の情報は
こちら↓



入試情報は
こちら↓



<お問い合わせ先>
福島大学 人間発達文化学類 支援室
Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp
Tel: 024-548-8103

